

1組同級会 13名！で盛大に開催

1組の同級会は6月1日（土）に上田の「香青軒」で開催されました。昭和42年卒業以来40数余年、個々人の交流はあったものの、同級会として集まる機会がありませんでした。人生の後半に入り、青春時代をともに過ごした同級生が一堂に会し懇談しようと在郷の北澤光二君と工藤良一君が発案して開催が決定しました。

参加した在郷組は幹事の北澤君、工藤君、竹下通広君に加え、黒沢俊直君、込山祥治君、田中穂積君、宮崎重信君、吉池文男君の8名、関東からは幹事の田村栄治に加え、生島和明君、清水俊文君、柳沢賢次君、土屋富士夫君の5名が参加し大いに盛り上がりました。

まずは13名の面々の近況スピーチに聞き入りました。46年を経た風貌に誰だっけ？と首を傾げる神経迷路からもすぐに抜け出し、ゲタと学帽で闊歩した高校生が復元され、予定の3時間もあっという間に過ぎました。

今回の同級会の開催に当たり名簿が整備され、級友43名のうち、物故者は4名、連絡先不明が5名とほぼ連絡先が判明しました。

次回開催は、欠席者から寄せられた「急遽であったことから都合がつかず、次回は・・・」というコメントを考慮して来年も開催することを決定し、今後は、電子メールも活用して参加者の拡大を図ることとしました。幹事は在郷組が竹下、込山、関東組は田村と決まり、来年の再会を祈念し別れを惜しみながら散会となりました。

（6月3日幹事 田村栄治 記）

【写真説明】

後列左から土屋、田中、吉池、生島、黒沢、柳沢、清水、込山
前列左から工藤、北澤、竹下、田村、宮崎

